



岡山大学記者クラブ 御中

令和4年6月30日

岡山大学

**岡山大学病院で通院支援アプリ・医療情報共有アプリ、
オンライン予約システムの導入を開始
～サービス向上、地域医療機関との連携強化を図る～**

岡山大学病院では、患者サービスの向上、DXの促進、地域医療機関との連携強化を進めるため、患者向けの通院支援アプリ「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」と医療情報共有アプリ「NOBORI」、地域の医療機関からオンライン予約が可能なシステム「カルナコネクト」の導入を開始しました。

「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」は、診察待ち時間における密の緩和とクレジットカードでの後払い機能（らくらく会計）を使った会計待ち時間解消ができるスマートフォンアプリを利用したサービスで、患者サービスの向上につながります。

また当院では、厚生労働省が保険医療機関へ導入を促しているオンライン資格確認（マイナンバーカードを健康保険証として利用出来る顔認証付きカードリーダー）も導入しており、通院支援アプリと合わせてご利用いただくことで患者さんの利便性の向上と、保険証確認業務の効率化を図っています。

医療情報共有アプリ「NOBORI」は、検査結果、処方の内容などの医療情報データを、スマートフォンを利用してご覧いただけるサービスで、他病院でも医療情報データが共有できます。

オンライン予約システム「カルナコネクト／C@RNACONNECT」は、紹介元の医療機関から、インターネット環境により、当院の診察予約空き状況を24時間365日確認することができるほか、ウェブ予約できるシステムで、従来のファクスを用いた予約と併用することで、地域の中核病院としての活動を充実させることができます。

<概要>

当院は、医科38診療科、歯科12診療科・部門を有し、毎日約3,000人前後の予約外来患者を受け入れています。多くの患者さんを受け入れていることから、診療科によっては診察待合スペースが混雑することが多々あるとともに、診察までかなりの時間を要する場合があります。また、時間帯によっては、診察終了後の会計についても支払い完了までに時間がかかることもあります。

このたび導入した通院支援アプリ「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」は、①病院の入口を通るだけで受付完了 ②診察の順番が近づくとスマートフォンにお知らせ ③クレジットカードによる後払い機能が利用できます。これにより、診察待ち時間における密の緩和と会計待ち時間が解消され、患者サービスの向上につながります。

また当院では、マイナンバーカードによる健康保険証のオンライン資格確認を導入していますので、顔認証付きカードリーダーで患者さんの医療保険の資格をスムーズに確認することができ、通院支援アプリと合わせてご利用いただくことで患者さんの利便性の向上と、保険証確認業務の効



PRESS RELEASE

率化に努めています。

医療情報共有アプリ「NOBORI」は、血液検査、レントゲンやCTなど画像検査のデータ、薬の処方内容などの医療情報データをスマートフォンで閲覧できるサービスで、他の医療機関でもその情報を共有することができます。

<社会的な意義>

当院での快適な通院、患者さんご自身での健康管理をサポートすることで、患者サービスの向上を図ります。また、地域の医療機関や関連病院とオンラインで接続し、診療予約業務の効率化を図るとともに、岡山大学病院機能のDX化を推進し、地域医療連携をより一層強化していきます。

「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」と「NOBORI」は、2022年5月16日から運用を開始しています。「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」は国立大学病院で3番目、岡山県内では初の導入です。また、同アプリの自動チェックイン機能は、国立大学病院の中でも初の導入となります。

「NOBORI」は、国立大学病院で2番目、岡山県内では岡山旭東病院、岡山中央病院に続いて3番目の導入となります。

「カルナコネクト」は、2022年6月1日から運用を開始しており、国立大学病院で2番目、岡山県内では津山第一病院、岡山市立市民病院、岡山旭東病院、川崎医科大学総合医療センターで既に導入されています。

以上のように、これらの取組みは全国の国立大学病院においても先駆けたものであり、患者さんから“デジタル対応力”で選ばれる病院を目指します。

<お問い合わせ>

岡山大学病院医事課

課長 上廻 真司

(電話番号) 086-235-7580

(FAX) 086-235-7613



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。